学校番号	1201

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	情報デザイン	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	7 実教　情報 309「情報デザイン」（実教出版）						
副教材等	３０時間でマスター　Word2013（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやデザインについて学び、日常目にしているあらゆるものに対して、デザイン的な視点で見ることができるようにしましょう。
・画像編集の仕組みや色についての知識を、実習を通して適切に活用できるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・コンピュータによるデザインに関する基礎的な知識と技術を身につける。
・問題意識，美的判断力，情報活用能力，企画・計画力を身につけ，上質なデザインを創造し，応用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	・情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	・情報の各分野に関する基礎的･基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	・情報の各分野に関する基礎的･基本的な理解。 ・現代社会における情報及び情報産業の意義や役割についての理解。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 発表 相互評価･自己評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 発表 相互評価･自己評価等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 発表 相互評価・自己評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	デザイン・情報・造形の基礎	○デザインって何だろう 何のためのデザイン アイデア カタチにする デザインがもたらすもの	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 日常生活で目にする「デザインされたもの」に興味をもって観察し、「よい」デザインを見極めようと主体的に取組んでいる。 b: 身近な問題を見つけ出し、解決するための工夫を発表し、他のメンバーの工夫にも耳を傾け、解決の方向性を見極める能力を身に付けている。 c: デザインを学ぶにあたって大切な心構えを挙げることができる。 d: デザインをするために大切な心構えについて理解している。	授業観察 ワークシート 発表 相互評価 実習作品
2学期		○情報ってなんだろう 人間は情報にどうかかわってきたか コミュニケーションのモデル	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: 人間と情報・コミュニケーションのかかわりの進展が人間社会の文明・文化の進展とどうかかわってきたか、人間のコミュニケーションがシンボルの共有を背景に成立するということに関心をもって取組んでいる。 b: 文字や紙、印刷技術などコミュニケーションにまつわる人類史上の大きな発明が社会にどのように影響してきたか、20 世紀の世界大戦など歴史的状況が人間のコミュニケーションにどのように影響してきたか思考することができる。 c: 人間と情報・コミュニケーションのかかわりの歴史のおおまかな流れを踏まえて、情報のデザインにどのような姿勢で取組むべきか考えることができる。 d: コミュニケーションのモデルや人間のコミュニケーションがシンボルの共有を背景に成立するということについて理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品 課題作品

3学期	デザインと表現	○デザインの造形要素 形態 色彩 材質感 空間 時間	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	a：造形の基本要素に着目して身の周りの造形物を分析的に観察することに関心をもって取組める。 b：造形要素に着目して造形物のありようを分析し、見る者に与える心理的効果が異なる理由を考察し表現することができる。 c：造形要素に着目して造形の心理的影響を分析することができる。 d：光と色の関係、光の三原色、色料の三原色、色の三属性、形態や色彩にかかわる知覚心理など造形要素にかかわる基本的な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 発表 相互評価 実習作品
		○造形要素の構成 構成の基本となる手法 調和をとる	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○	a：構成の基本操作による造形展開に興味を持って取組める。さまざまな造形物がどのようにして調和を取っているか関心をもって観察できる。 b：造形の展開手法を工夫し、さまざまに組み合わせて造形の面白さを発見できる。 c：グラフィックソフトで造形構成を展開する基本的な操作をすることができる。 d：調和がとれつつ魅力的な造形構成の背後にあるルールについて理解する。	授業観察 ワークシート 発表 相互評価 実習作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。